

湯村温泉に特徴的サービスの宿泊施設

ターゲットは個人客

新温泉町の湯村温泉に、個人客向けのサービスに力を入れた宿泊施設が登場している。ワーケーションの受け入れや地元飲食店の活性化を促す仕掛けなどで、顧客のニーズにきめ細かく対応。かつての主力だった団体客が減少しており、特徴的なサービスを全面的に打ち出して違いを際立たせる。
(斎藤 誉)

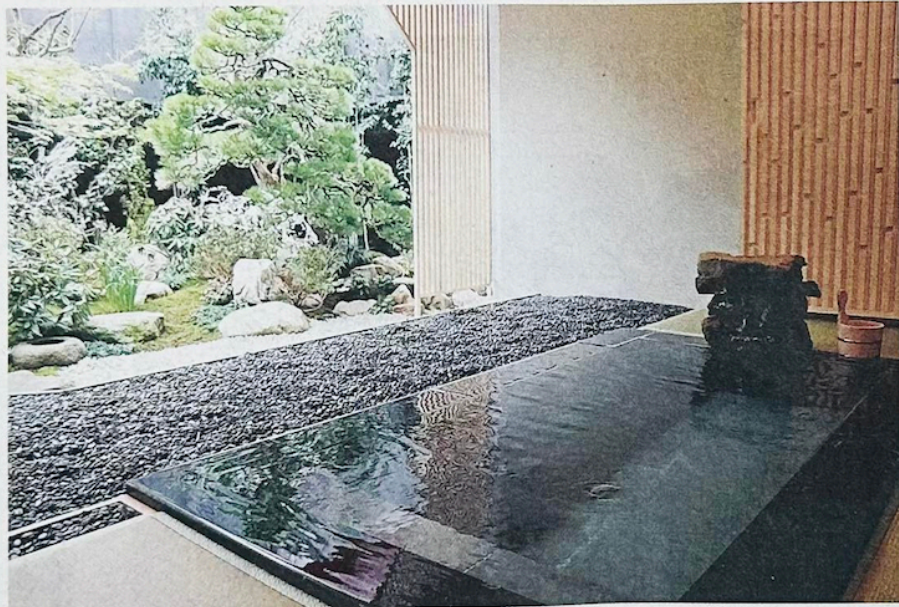
団体減少、一人一人のニーズにきめ細かく対応



ロビーに入ると、薄たいだい色の石壁をほう草木が宿泊客を出迎える。4月1日に開業したばかりの旅館「湯村温泉緑屋」は、落ち着いた雰囲気包まれる。2016年に廃業した老舗旅館の建物を改装した。内装品の机、いすは木を加工して作られた一点物。重田幸太郎社長は「館内のインテリアはほぼ全て売り物」と教えてくれた。いずれも、気に入った雑貨を購入できるサイトに誘導するQRコードのシールが貼られている。

客室は、室内にミニ庭園を配した総ひのき風呂付きのプレミアムルーム(約52平方メートル)▽家族向けのファミリールーム(約59平方メートル)▽出張や友人同士の旅行などを想定した洋風のスタンダードツイン▽和洋折衷のスイペリアツインの4種類で計10室を備える。貸し切り露天風呂には、世界有数の庭師、石原和幸さんが監修した松やコケ、石灯籠などを配した日本庭園がある。

- ①ワーケーションの利用を見込んだスペースもいずれも湯村温泉緑屋
- ②庭師の石原和幸さんが監修した庭園を望む貸し切り露天風呂
- ③ミニ庭園があるプレミアム



選ばれる宿へ工夫重

室内に庭園、コース形式の朝食…